



# 大地の実り

水戸市立下大野小学校  
学校便り NO. 21  
平成30年2月19日

## 励まし合い、競い合って伸びる！—なわとび記録会—

なわとび記録会の数週間前に、子どもたちにこんな話をしました。

校長先生が前いた学校では、大なわ8の字とびは1年生から6年生までがライバルでした。1年生には、初めから300回ぐらいのサービスポイント、2年生には250回ぐらいのサービスポイント、3年生には200回ぐらい・・・というふうにサービスポイントがあり、それを前提にみんなで跳んだ回数を競うのです。そうすると2年生でも6年生に勝ってしまうこともあるので、みんな必死なのです。どの学年も夢中で練習します。ある時、5年生の終わりにちょっと運動が苦手なI子ちゃんが転校してきました。その学年は大なわ8の字とびが得意で、5年生の時には6年生に勝った学年でした。I子ちゃんは前にいた学校では跳べないままでした。それでも支障がなかったのでしょうか。I子ちゃんが転入した学年が6年生になりなわとび大会が近くなったころ、クラスメイトのI子ちゃんに対する必死の練習作戦が始まりました。「お前何やっているんだよ。ここからこう入るんだよ・・・」運動神経のよい子も大勢いたその学年では、6年生でも優勝したいとの子どもたちの気持ちが強かったのでしょうか。中学校になった時には県大会の〇〇種目で優勝するぐらいの男の子が何人かいたくらいですから。I子ちゃんの味方になりながら、かばいながら、大なわ8の字とびの練習は進みました。I子ちゃんがなぜ練習に励めたか・・・それは、クラスメイトのちょっと厳しいとも思える掛け声には「愛」があったのです。厳しい言葉だったかもしれないけれど、みんなにはI子ちゃんを仲間として受け入れて卒業の日を迎えたいという思いがあったのです。1年生も優勝を狙って自分たちで自主練習をするというくらいに盛り上がった大なわ8の字とび、大会の結果は、やはり一つ下の5年生が優勝し、去年優勝したI子ちゃんのいる学年の6年生は、I子ちゃんもほぼとべるようになり、よく頑張ったのですが、この年は優勝できずわずかな差で（サービスポイントが5年生には初めからついていていたせいもあるのですが）第2位でした。誰もが6年生悔しいだろうな・・・と思ったのです。ビックリしたのはその後でした。その学年は、賞状の受け取りになんとみんなで話し合っってI子ちゃんを前に出したのです。いやみでも何でもなく、クラスの誰もがI子ちゃんの必死のがんばりをみとめ、「やるだけやった」との思いだったのです。学校中がその子どもたちのまっすぐな気持ちに感動し、すごい6年生だな・・・と思ったのです。その6年生は、仲間として成長して、ステキな卒業式を迎えました。晴れ晴れとした笑顔で、卒業写真に写っています。みんなも、今回のなわとび大会に向け、励まし合い、力を合わせてがんばってほしいと校長先生は願っています。

子どもたちに話したのはここまででしたが、続きがあります。I子ちゃんは、賞状の受け取りには前に出たのですが、悔しくて悔しくて、給食がこの日はのどを通らなかったのです。クラスの間みんなも、始めは全然できなかったのをよく知っているだけに、みんなに悪いと悔しく思ってくれたI子ちゃんの気持ちを、しっかり受け取ったのです。

本校のなわとび記録会にも、様々なドラマがありました。「責められることで力を出す人はいない」こと。「がんばれる気もちになる声かけ」や「努力する姿はみんなが認めてくれる」こと。「不得意なことから逃げないこと」「仲間と心をつなげて成し遂げること」、「自分の記録を伸ばすため、こつこつと努力すること」等々。

行事を節目に、また成長してくれるといいなと心から願ったのです。

## なわとび記録会成績

### 【短なわ連続2分間前とび】…1・2年

1位・・・1年 黒澤 陽菜（254回）      2年 久保田 慎（413回）  
その他高記録者 1年 櫻井 大地（241回）      2年 市毛 陽斗（311回）

### 【短なわ1分間二重とび】…3・4・5・6年

1位・・・3年 大和田陽翔（71回）



4年男子 大谷 和那(129回) 4年女子 荻沼 里桜(69回)  
 5年男子 久保田 匠(110回) 5年女子 吉川 愛実(90回)  
 6年男子 久野 鉄太(120回) 6年女子 高橋 梨乃(125回)

その他高記録者100回以上 4年 久保田 楓(118回) 4年 松浦 優雅(114回)

今回の記録会での成績ではありませんが、29年度最高記録は、短なわ連続2分間前跳び 2年 久保田 慎(448回)、短なわ1分間二重とび 4年 久保田 楓(131回)でした。

【大なわ8の字とび 学年の部】

1・2年合同チーム(188回) 3年(465回) 4年(398回) 5年(480回)  
 6年(512回)

今回の記録会での成績ではありませんが、29年度最高記録は、6年(566回)でした。

【大なわ8の字とび 縦割り班の部】

1位 1班(363回)

1年 荻谷 未来, 2年 桧山 大輔 高橋 杏奈, 3年 田中 杏季, 4年 市毛 陽菜, 黒澤 侑真, 関根 颯大 5年 金澤 翼 小林 佑兵 吉川 愛実, 6年高橋 梨乃 吉川 聖

下大野の子どもたちの活躍

・校内書初め展 金賞

1年 黒澤 陽菜	鈴木 愛菜
2年 金澤 優斗	高橋 杏奈
3年 高橋 真花	田中 杏季
4年 荻沼 里桜	雲井 琴那
5年 林 萌奈	
5年 田中 孝明	吉川 愛実
5年 吉川 怜佑	
6年 大和田拓夢	鈴木 陽翔
6年 久野 真愛	

・下大野小学校読書活動

読書賞 低学年 100冊読破  
 3年 桧山 唯華

・いきいき生活チェック

ノーメディアデーチャレンジ達成者

1年 荻谷 未来	白土 陽香
1年 鈴木 愛菜	藤咲 琉斗
2年 市毛 陽斗	金澤 優斗
3年 荻谷 結斗	高橋 真花
3年 田中 杏季	宮崎 結衣
3年 吉川ななみ	
4年 荻沼 里桜	久保田 楓
4年 白土 優陽	林 萌奈
4年 林 侑哉	
5年 久保田 匠	田中 孝明
5年 吉川 愛実	
6年 高橋 にこ	

2月の暗唱より

水戸と言えば「梅の花」です。別名「好文木」とも言われ、学問を象徴する花とも言われています。「徳川景山」というのは偕楽園をつくった斉昭公のことで、水戸が「魁(さきがけ)のまち」と言われるのは、この「弘道館に梅香を賞す」という斉昭公の漢詩によると言われています。水戸に生きる子どもたちに、ぜひ覚えてほしいと思いました。今回で2回目の暗唱課題なのですらすらと言える子が多いです。でも、今回初

めての1年生も、はりきって暗唱してきます。先人のことばは、水戸市総合教育研究所から出されている「水戸の教育」の2月の先人のことばです。雪にも負けずつぼみを膨らませ、いちはやく春を告げて咲く梅の花は、なんと可憐で力強いのでしょうか。この光景も、水戸人である子どもたちの心に残る光景であってほしいと思います。

1月の暗唱

弘道館に梅花を賞す  
徳川 景山

弘道館中 千樹の梅  
清香馥郁として十分に開く  
好文豈に威武無しと謂わんや  
雪裡春を占む天下の魁

先人のことば  
種梅記より

夫れ梅の物たるや  
華は則ち雪を冒し  
春に先んじて  
風騒の友となる

